

# 赤れんが

## 第9号

- 特集「栄養サポート」
- 院内トピックス
- Q&A
- 診療案内他

### 理念

鳥取県立中央病院は、県の基幹病院として良質で思いやりのある医療を提供します。

### 方針

- 私たちは、急性期の高度・特殊医療をおこないます
- 私たちは、地域の人たちの安心・安全のため、救急医療に取り組みます
- 私たちは、地域の医療機関との連携強化に努めます
- 私たちは、地域の人々が納得される医療を行います
- 私たちは、組織人としての役割を遂行できるよう、研修・研鑽します

★鳥取県立中央病院が「地域がん診療連携拠点病院」に指定されました。



中央病院から見た千代川

### 「栄養サポート活動の意義」

鳥取県立中央病院

NST委員長  
外科医長

中村 誠一



「自分が健康であるかどうかの目安は何ですか?と聞かれたら、何を挙げるでしょうか。くっすり眠れるとか、生活に張り合いがあるとか、酒がうまいとか、いろいろあると思います。食事がおいしい、食欲がある、1日3回の食事が食べられるなど、「食べる」ことが順調であることは、健康に欠かせないことであると思います。

病気になる、入院して治療を受けるときに、栄養状態が悪いと病気の回復が遅れることがあります。それどころか、栄養が取れない状態が長期間続くと、命に関わる状態となることもあります。栄養を適切に管理することはすべての医療の土台となり、これをおろそかにすると、どんな治療でも効果が上がりません。

#### NSTとINutrition(栄養)

Support Teamサポートチームの略であり、近年、全国的な広がりを見せています。当院では、2年前から活動を始めました。このような活動が必要となる理由として、少し大げさですが、日本の医療には適切な栄養管理が確立・普及していなかったことが挙げられます。もちろん、栄養のことをよく理解し実践している医師も多い

のですが、栄養管理を少し考えるだけでめざましく回復される患者様が多数おられるのが現状です。

実際には、各病棟2名のNST担当の看護師が、栄養状態に問題のある患者様をピックアップし、それぞれの担当医に連絡し、担当医から私どもに依頼がある患者様を対象としています。毎週水曜日に、昼食中に患者様を訪問し、お食事の様子を実際に見て、さらに体調やご要望をうかがい、その情報を元に夕方に検討会を開いています。さらに、病院職員向けに、月1回の栄養管理に関する勉強会を開き適切な栄養管理を普及させることで、当院に入院される皆様の栄養管理が改善し治療効果が上がることを目指しています。

NSTの活動が、少しでも皆様のお役にたてるようになっていきますので、これからもよろしくお願いたします。



栄養サポートチーム(NST)の活動を実施して

栄養管理室長 松本千代子

### 1 栄養サポートチーム(NST)の役割

当院では平成16年12月から医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、管理栄養士等のスタッフがチームを作り、患者様の病態や栄養状態を評価し、問題がある患者様に対して適切な栄養療法を実施しています。

活動の目的は、食欲不振や疾病の影響により栄養状態が好ましくない場合に患者様の意向を尊重しながら栄養状態を改善し、疾病治癒の促進や免疫力の向上等により合併症の予防をし、疾病の早期回復に貢献することです。

さらに、各専門職員がそれぞれの立場で智慧や技術を生かし、効果的な医療に貢献できるようチーム医療の推進を目指しています。

### 2 栄養士の立場から

病院食には糖尿病食、腎臓病食、肝臓病食、クローン病等の消化器疾患等に対応した多くの種類があります。また、濃厚流動食を主とする経腸栄養等を含め個々の患者様の病態や希望に対応した適切な栄養管理を行うことを目標としています。このような状況からNST回診で患者様のベッドサイドに訪問し、直接食事状況を拝見させていただくことにより食事

の改善点等が具体的に見えますので細かい対応が可能になりました。今後、他の委員会やチームの活動と連携しながら充実した栄養管理を行いたいと思います。

【NST活動により新たに取り組んだ内容について】

- ・栄養基準の見直しにより病状に対応したきめ細かい栄養基準を設定
- ・嚥下困難の場合は、食事を全てゼラチンで固めたり、増粘剤で滑らかにすることにより飲み込み易くし、機能に対応した嚥下食の実施
- ・濃厚流動食の種類を増加や逆流防止のため寒天で固形化の実施
- ・食事の食べ方が少ない場合は、食事を半量にしてその代わりに栄養量を増加するため栄養補助食品を添付
- ・手の不自由な方が、自らの力で食事をし易いように工夫された食器やスプーンである「自助食器」を採用

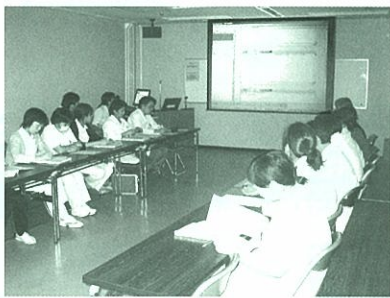
これらの方法等により、栄養状態が改善し、患者様が生き生きと本当に嬉しく感じます。今後、他の専門職員とチームで活動し、栄養サポートチーム(NST)のさらなるレベルアップを図り、より良い方法を取り入れていきたいと考えています。

- ・緩和ケアチーム
- ・褥瘡委員会
- ・糖尿病サポートチーム
- ・嚥下チーム

相互協力



栄養サポートチームの構成員



NST委員会

## 特集 栄養サポート Nutrition Support Team

今回は、院内の各職種が連携して、患者様に対し効果的な栄養療法を実施する栄養サポートチーム(NST)の活動を紹介します。

### 【栄養サポートチーム(NST)】

- 看護師の立場から 5階西病棟 安達直美
- 調理師の立場から

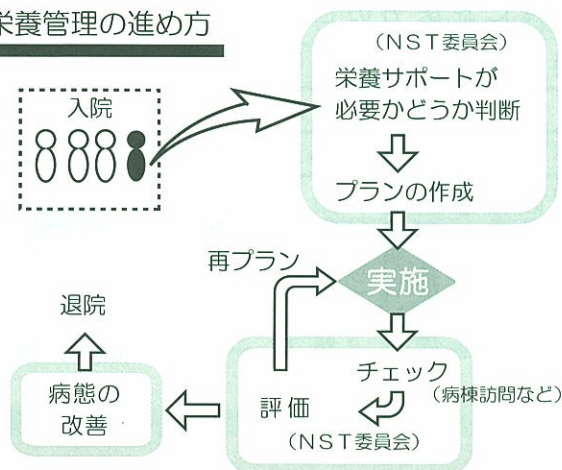
5年程前に、脳梗塞のため飲食物の咀嚼や飲み込みが困難になる嚥下障害がある患者様を受け持ちました。その方は、訓練により、ゼリー食から増粘剤を混ぜたミキサー食、さらにつぶし食と進めることが、患者様、御家族の方に喜んでいただくとともに、私たちも感動し、とてもうれしく思いました。そのときはまだ、NST委員会がなく、御家族の方にゼリーを作っていただけ増粘剤を購入して病院に持ってきていただいていた。現在は、NST委員会ができ、栄養管理室の栄養士や調理師の働きがあり、嚥下障害の程度に合わせた食事の提供が可能になりました。今では一人ひとりの栄養状態を考慮して、NST委員会のサポートが必要な方に色々な対応を行っています。

看護師は、患者様のニーズを一番にキャッチできます。食事の好みや毎食摂取状況を見たり、聞いたりし、その情報をNST委員会に提供し、対策を立てます。そして、立てられた対策が患者様に対してよかったです。どうか日々判断していきます。



NST委員会による病棟訪問

### 栄養管理の進め方



毎日、患者さまの多種類の食事を作っていますが、これまででは、その食事を食べられる場面に立ち合う機会がありませんでした。NST回診に参加するようになってから患者様に直接お会いし、実際に食事をされている姿を拝見し、食事に対する希望や感想等をお聴きすることができるようになりました。そこから得た情報を元に食事に工夫を加えることで患者様の食事摂取量が増加したり、疾病改善の一助になることは調理師として大変手ごたえを感じます。食事の味付け、切り方、嗜好を尊重する等最大限の要望にお応えできるよう全員で努力しています。

# 院内トピックス

## トレーニングラボ運用開始！

医療技術の研修、実習、シミュレーションを行うことができるトレーニングラボ室を、昨年整備しました。研修医や新人看護師のトレーニングの一環として活用し医療技術の向上に役立てたり、高校生を対象とした1日看護師体験において医療現場の疑似体験をするために活用しています。



## ホームページ リニューアル！

昨年10月4日に当院のホームページを全面リニューアルしました。リンクを分かりやすくし、見る方にとって優しく利用しやすいホームページを心がけました。是非一度ホームページをご覧ください。

URL <http://www.pref.tottori.jp/chuoubyouin/>



## がん拠点病院に指定

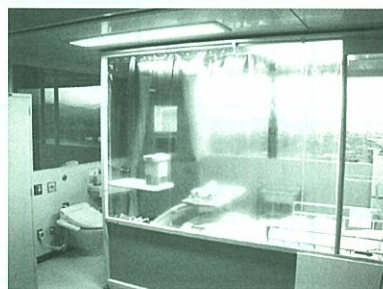
平成19年1月31日に、鳥取県立中央病院が「地域がん診療連携拠点病院」に指定されました。今後、名実ともに拠点病院の名にふさわしい役割を果たすべく体制整備をしていきたいと思ひます。

## クリーンルームの紹介

当院では白血病・悪性リンパ腫の新患が年間30～40名ありますが、抗癌剤治療や移植のために個室を必要とすることがあります。

2006年12月1日に7階東病棟に待望の無菌治療専用の個室が完成しました。3部屋ともシャワー・トイレが完備しており室内も広いためこれまでに利用された患者様からはストレスを感じないで済み、快適な生活を送ることができると言っていました。また兄弟間での移植を行う場合これまでには集中治療室にある無菌室を使用しておりましたが、こちらにも病棟を替わることなく行えるようになりました。スタッフ一同この環境を生かした医療・看護を今後も提供していきたいと思ひます。

内科 小村裕美



広く快適になったクリーンルーム



## Q&A コーナー

患者様、県民の皆様からの質問、疑問、意見に対してお答えします。多くのご意見をお待ちしています。

### Q. 花粉は春だけのものですか？

A. 今年もいよいよ花粉が飛散する季節が近づいてきました。花粉症とは草木から飛び散った花粉が鼻や目に入って、アレルギー反応（過敏性反応）を起こす疾患です。花粉が繰り返して体内に入ることによって徐々にその花粉（抗原）のみに反応するもの（抗体）が作られます。その結果花粉が飛散して体内に入ると毎年のようにほぼ同じ時期にくしゃみ・鼻水・鼻閉・目のかゆみなどの症状が認められます。

原因となる花粉は杉（2～3月）が有名ですが、ヒノキ（4月）・ブタクサ（5～7月）・ブタクサ（8～10月）・ヨモギ（9～11月）など多くの植物の花粉が抗原となります。また花粉症は30歳代を中心とした青壮年で多く発症しますが、最近は花粉症の若年化と高齢化も指摘されています。屋外で活動することの多い子供は花粉を浴びる量が大人より多くなりやすいことが問題と思われます。したがって、花粉症の原因を各個人で把握することとともに体内に花粉を取り込まないようにする工夫（マスクの使用など）や、適切な薬物療法が必要となります。

当院では、花粉症の原因精査とともに鼻アレルギー診療ガイドラインに沿って適切な診断・治療を心がけています。アレルギー性鼻炎にお困りの方は一度ご相談されてはいかがでしょうか。

回答 耳鼻咽喉科 竹内 裕一



# 外来診療案内

(平成19年2月1日～)

名称	月	火	水	木	金
内科	田中孝	森田	浦川	柳谷	小村
	杉本	清水辰	田中究	村尾	岡田
	鳥大医師	鳥大医師	田中孝	森田	清水辰
	村尾	田中孝	岡田	小村	杉本
	田中究		武田倬	山本寛	
		柳谷			遠藤功
		浦川	鳥大医師	鳥大医師	鳥大医師
循環器科	那須	遠藤	菅	吉田	菅
	吉田	吉田	吉田	遠藤	那須
		那須			遠藤
神経内科	中安	浅井	中安	浅井	中安
	鈴木香	中安		中安	鈴木香
精神科	松林	松林	松林	松林	松林
小児科	常井	星加	宇都宮	星加	常井
	宇都宮	戸川	佐野	田村	大谷
	星加(午後)		星加	戸川	
外科・小児外科	岸	澤田	清水	河村	中村
整形外科	服部	山本清	鱸(すずき)	山本哲	村岡
	山本清	村岡	山本清	服部	山本哲
	山本哲	鱸	村岡	鱸	服部
形成外科	坂井		坂井		坂井
脳神経外科	稲垣	宇野	稲垣		稲垣
胸部外科	前田	谷口		森本	
		中嶋		宮坂	
泌尿器科	根本	太田	木内	太田	根本
	渡邊	木内	太田	木内	
皮膚科	河上	河上	河上	河上	河上
産婦人科	皆川	大野原	池野	出浦	皆川
	大野原	池野	皆川	皆川	大野原
	池野	出浦	大野原	池野	出浦
眼科	伊藤	武田	伊藤	春木	武田
耳鼻咽喉科	竹内	竹内	鈴木	竹内	松尾
	鈴木(午後)				鈴木
放射線科	藤原	中村	中村	小川	藤原
麻酔科	内田	坂口	内田	小笹	内田
口腔外科	倉立	倉立	倉立	倉立	倉立
	山本	山本	山本	山本	山本
人間ドック	佐々木	村尾	根本	佐々木	佐々木
救急科	岡田稔	岡田稔	岡田稔	岡田稔	岡田稔

## 鳥取県立中央病院

外来診療受付時間 8:30~11:00

※外来は基本的に予約制です。

予約に関する変更・お問い合わせは午後2時から受け付けます。

※緊急手術等で担当医が変更になることもあります。

面会時間 13:00~20:00

## 専門外来等

名称	曜日	担当医
ペースメーカー	水・午後	循環器(菅)
アトピー	水・午後	皮膚科(河上)
乳腺	火	胸部外科
リウマチ	金・午前	整形外科(山本哲)
アレルギー・花粉症	月・午後	耳鼻科(鈴木)
更年期	金・午後	産婦人科
小児肝炎	月・午後	小児科(星加)
乳児健診	火・午後	小児科
妊婦教室Ⅰ	第2水曜 午後	産婦人科
妊婦教室Ⅱ	第3水曜 午後	産婦人科 小児科
安産教室	第4水曜 午後	産婦人科
内分泌・不妊症	月・水・金 午後	産婦人科(大野原)
産科・周産期	(月)・水 午後	産婦人科(池野)
婦人科腫瘍	水・午後	産婦人科(皆川)
加齢黄斑変性	月・火・木 午後	眼科(伊藤)
思春期外来	月・午後	精神科(松林)
物忘れ	火・午後	精神科(松林)
睡眠障害外来	水・午後	精神科(松林)

※ 眼科の初診は、紹介状が必要となります。

その他の科の場合も、できるだけ紹介状をご持参下さい。

## バス時刻表 鳥取バスターミナル～中央病院 約15分 (平成19年2月)

中央病院行き (鳥取駅発時刻)	13	00, 50	鳥取駅行き (中央病院発時刻)	13	25, 41, 57		
	14	30		14	20, 55		
7	20, 40, 50, 55	15	10	7	15	35	
8	00, 20, 30, 50	16	00, 30, 40	8	20, 29, 37, 40	16	21, 35, 54
9	20	17	33	9	05, 15, 31, 50	17	00, 55
10	00, 20, 50	18		10	25, 53	18	
11	10, 30	19		11	10, 55	19	01, 07
12	20, 35	20		12	40, 55	20	34

## お知らせ

### インフルエンザ注意報！！

インフルエンザや、ノロウイルスなど感染症が流行しています。マスクやうがい・手洗いなどを心がけ、バランスのよい栄養と休養に努めましょう。おかしいな?と思ったら早めの受診をお勧めします。

